

入 試 年度	2026 年度	入試時期	I 期入学試験	実施日	2025 年 9 月 17 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	日本文学専攻
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	専門科目	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【出題の意図】					
日本文学専攻で必要とされる思考力、知識のうち、特に専門分野に関する知識・教養、テキストの読解力、問題の発見能力・着眼力、問題解決における論証能力、文章執筆の言語能力が、学士課程で身につけているかどうかを確認する。					
問題一					
次の中から自分に該当するものを選んで述べよ（選択肢省略）。					
【解答例（採点時の観点）】					
これまでの研究成果もしくは構想と進学後の研究計画について、発想の独創性・分析や考察の客観性及び実証性、そして文章の論理的構成力・日本語表現力を採点時の観点とした。					
問題二					
《日本古代文学Ⅰ》					
（一）万葉集の伝来において、仙覚が果たした役割について説明せよ。					
【解答例（採点時の観点）】					
奈良時代以前に成立した歌集がこんにちに至るまでどのように伝えられてきたかに関する知識の正確さと、要点を押さえた説明になっているかを、採点時の観点とした。					
（二）中国の類書『藝文類聚』が奈良時代以前の日本文学に与えた影響について説明せよ。					
【解答例（採点時の観点）】					
古代日本人が漢詩文制作に際し、内容に応じた適切な表現を効率よく見つけることができる素材源としてだけでなく、歌集編纂に際しても作品の分類方法に影響を与えている点を知識として身につけ、それらを具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。					
《日本古代文学Ⅱ》					

(一)「源氏物語の男君たち」「歌物語の虚構性」「枕草子と藤原定子」「日記文学の記録性」の中から二題選び説明せよ。

【解答例（採点時の観点）】

平安文学における重要なテーマや研究用語について、正確な知識をもとに、具体的かつ論理的な見解が述べられているかを採点時の観点とした。

(二) 次の歌（『大和物語』五九段より）について答えよ。

問一 右の歌の修辞法について答えよ。

問二 右の歌を現代語訳せよ。

【解答例（採点時の観点）】

『大和物語』五九段の和歌の意味や表現を正確に読み取れているかを採点時の観点とした。

《日本中世文学》

(一) 院政期から鎌倉時代にかけて成立した説話集について、具体的作品を挙げつつ、その特色を述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

中世文学のうち、説話集について、正しい知識を有しているか、またそれらの特色について理解しているかを、採点時の観点とした。

(二) 次の文（『安元御賀記』の一節）を呼んで、次の問に答えよ。

問一 傍線部を現代語訳せよ。

問二 『安元御賀記』は安元二年（一一七六）に催された後白河院の五十賀の三日間を描いた作品で、記主は藤原隆房である。後白河院とその時代の人々が生み出した作品に触れつつ、その文学史上の意義を述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

古文を正確に読解することができるか、中世文学とその文学史的・文化史的意義について深い見識を有しているかを、採点時の観点とした。

《日本近世文学》

(一) 井原西鶴の好色物の浮世草子のうち、女性を主人公とするものについて、具体的作品名をあげつつ、解説しなさい。

【解答例（採点時の観点）】

『好色五人女』および『好色一代女』などの名前を挙げつつ、それらの内容などについて豊富な知識を持っているか、また、それを適切かつ論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

(二)『修紫田舎源氏』について、作者名を明記しつつ、知っているところを述べなさい。

【解答例（採点時の観点）】

作者柳亭種彦の名前が書けており、同書の内容などについて豊富な知識を持っているか、また、それを適切かつ論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《日本近代文学Ⅰ》

(一)日本近代文学のなかで戦争はどのように描かれたか、具体的な作家名や作品名をあげながら論述しなさい。

【解答例（採点時の観点）】

日本近代における戦争文学について、当時の思想や文化の特徴と関連づけながら具体的・論理的に論述できているかを採点時の観点とした。

(二)雑誌『文芸時代』と川端康成について説明しなさい。

【解答例（採点時の観点）】

『文芸時代』や新感覚派の文学について、的確で豊富な知識を持っているか、また、それについて具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《日本近代文学Ⅱ》

(一)近・現代詩におけるシュルレアリスムについて、具体的な作家・作品名を挙げながら論述せよ。

【解答例（採点時の観点）】

近・現代詩の歴史について一定の知識を持っているか、また、具体的な作家・作品をめぐる受験者自身の理解が詳細かつ論理的に記述されているかを採点時の観点とした。

(二)田村隆一の詩とその特徴について、具体的な時代背景を含めて論述せよ。

【解答例（採点時の観点）】

近・現代詩の歴史において逸することの出来ない詩人や作家の特徴について基礎的な知識があるか、さらにそれを具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《日本近代文学Ⅲ》

(一)明治四〇年代の文学の動向について論ぜよ。

【解答例（採点時の観点）】

当時の文学の状況について豊富な知識を持っているか、また、それについて具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

(二) 大正教養主義について、知っていることを述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

受験者の問題意識と関連付けながら、当時の文学・文化の特徴について具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

《国語学》

(一) 日本語のオノマトペについて、知るところを述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

日本語のオノマトペ（擬音語・擬態語）に関心を抱いて、それを総合的に把握しているかを採点時の観点とした。

(二) 歌言葉の特徴について、知るところを述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

日本語語彙のなかでも、「歌」に用いられる言葉について、一般語との異同を、正確な知識をもって論述できるかを採点時の観点とした。

《漢文学》

(一) 次の詩（白居易詩）を読んで次の問いに答えよ。

問一 傍線部①を、書き下し文にせよ。

問二 傍線部②（後半二句）を、書き下し文にし、口語訳せよ。

【解答例（採点時の観点）】

問一 酒盞酌み来たらば須らく満満たるべし

問二（書き下し）言ふ莫かれ三十是れ年少たりと、百歳三分すれば已に一分なり。

（訳）三十歳はまだ若者だと言わないでくれ、一生（百年）を三つに分ければもうそのうちの一つを過ぎているのだ。

(二) 杜甫の詩風について、後世への影響を含めて説明せよ。

【解答例（採点時の観点）】

唐詩の歴史における杜甫の位置づけと、後世、とりわけ宋代の杜詩の継承に関する知識を持っているか、また、それについて具体的・論理的に文章化できているかを採点時の観点とした。

《比較文学》

(一) 「白樺派」の同人を一人選び、その著述における比較文化的見解について述べなさい。

【解答例（採点時の観点）】

当時の同人誌の状況について豊富な知識を持っているか、また、それについて具体的・論理的に説明できているかを採点時の観点とした。

(二) 近代作家を一人選び、その作品における聖書のイメージについて述べなさい。

【解答例（採点時の観点）】

受験者の日本文化史と日本文学史の知識と回答の論理性を採点時の観点とした。

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを基準として、総合的な視点により判断しております。